

平成21年度の厚年本体利回り(確定値):7.54%

対象先	DB年金	厚年基金	適格年金	退職金	DC
	内容	法令通知	財政運営	資産運用	会計基準 その他

ご参考に厚年年金以外のお客様にも送信しています。

ポイント

標記につき厚生労働省より数値の公表がありましたのでご案内致します¹。

1. 平成21年度の厚年本体利回り:7.54%²
2. 上記7.54%を基に、平成21年度の最低責任準備金(継続基準)の算出に用いる利率の通知³が発出されました。

1 「厚生年金・国民年金の平成21年度収支決算の概要」

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000000j1pd-img/2r9852000000j1qu.pdf>

2 弊社推計値は7.5%(☞ [年金ニュースNo.210](#))

3 「「厚生年金基金における最低責任準備金調整加算額及び控除額の算定について」の一部変更について」(年発0810第1号)

厚年基金への影響

- ✓ 厚年本体の運用利回りの基金財政運営に与える影響は、以下の3点です。
 - 最低責任準備金(継続基準)の算出に用いる利率(今回確定)
 - 回復計画上の最低責任準備金の付利率(今回確定)
 - 期ズレありの最低責任準備金の算出に用いる利率(未発出)

☞ 詳細は次頁ご参照

影響 最低責任準備金(継続基準)の算出に用いる利率

- ✓ 平成21年度の継続基準における最低責任準備金(継続基準)の算出に用いる利率は、7.54%に基づき、通知で定められました。

影響 回復計画上の最低責任準備金の付利率

- ✓ 回復計画策定上の最低責任準備金の予測に用いる利率は、今後以下の、のいずれか小さい率を下回らないように定めます。
厚年本体の直近5年の運用実績。ただし、当該平均値がマイナスの場合は、当該実績値に基づき合理的に見込まれる率。
厚年本体の財政検証における運用利回りの前提
- ✓ 平成21年度決算に基づき回復計画を策定する場合、下表の通り直近5年平均は1.42%となり平成21年の厚年本体の財政検証における運用利回りの前提を下回るため、平成24年以降の見込みとして1.42%が適用可能です。

《厚生年金本体の運用実績》

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
年度実績	6.82 %	3.10 %	3.54 %	6.83 %	7.54 %
過去5年平均	-				1.42 %

《21年度回復計画策定上の最低責任準備金の付利率》

	平成23年1月～12月	平成24年以降
付利率 (過去5年平均)	7.54 %	1.42 %
付利率 (厚年本体の前提)		1.8 %～4.1%
と の小さい方	-	1.42 %

平成21年厚生年金本体の財政検証における運用利回り前提に基づく付利率

《ご参考、平成21年厚生年金本体の財政検証における運用利回り前提》

年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32年度以降
利率 (%)	1.5	1.8	1.9	2.0	2.2	2.6	2.9	3.4	3.6	3.9	4.0	4.1

影響 期ズレありの最低責任準備金の算出に用いる利率

- ✓ 期ズレありの最低責任準備金の平成23年1月～12月に適用される利率は、7.54%に基づき、別途告示される予定です。(例年12月頃)

以上